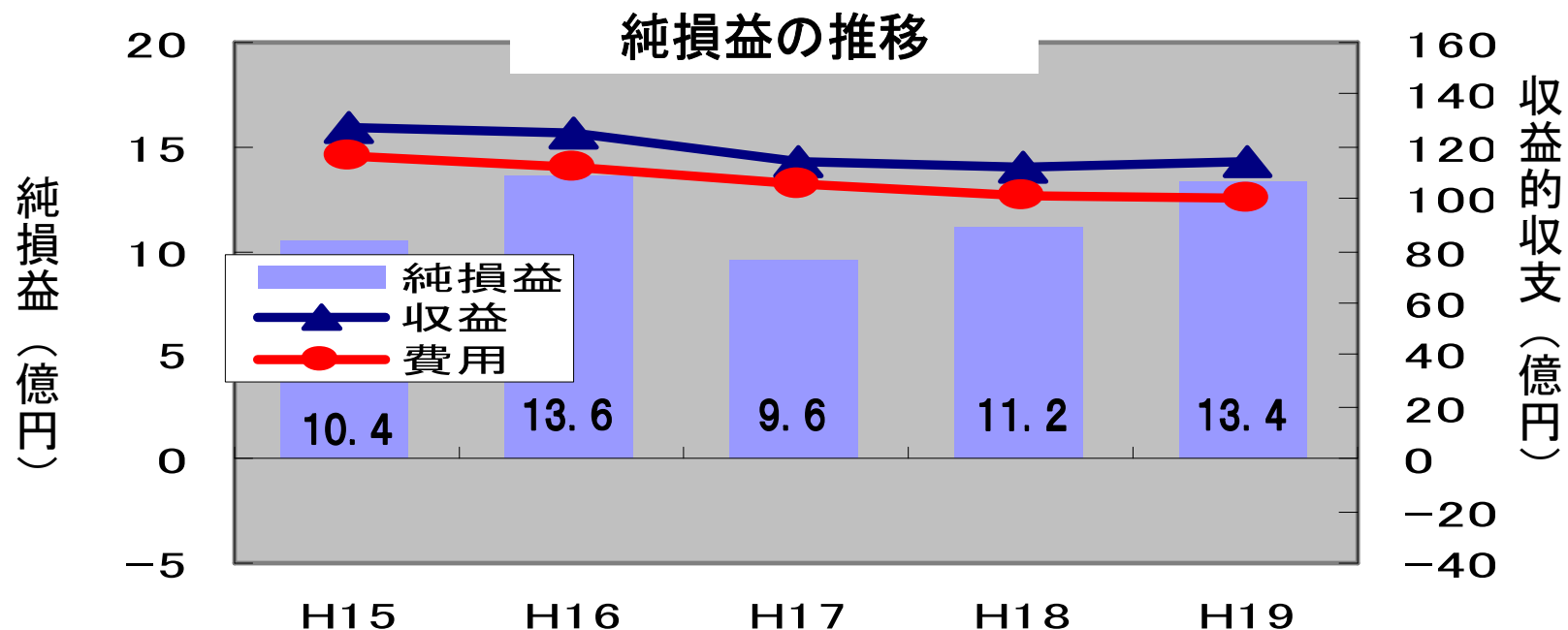


経営状況（概要）

1 水道用水供給事業

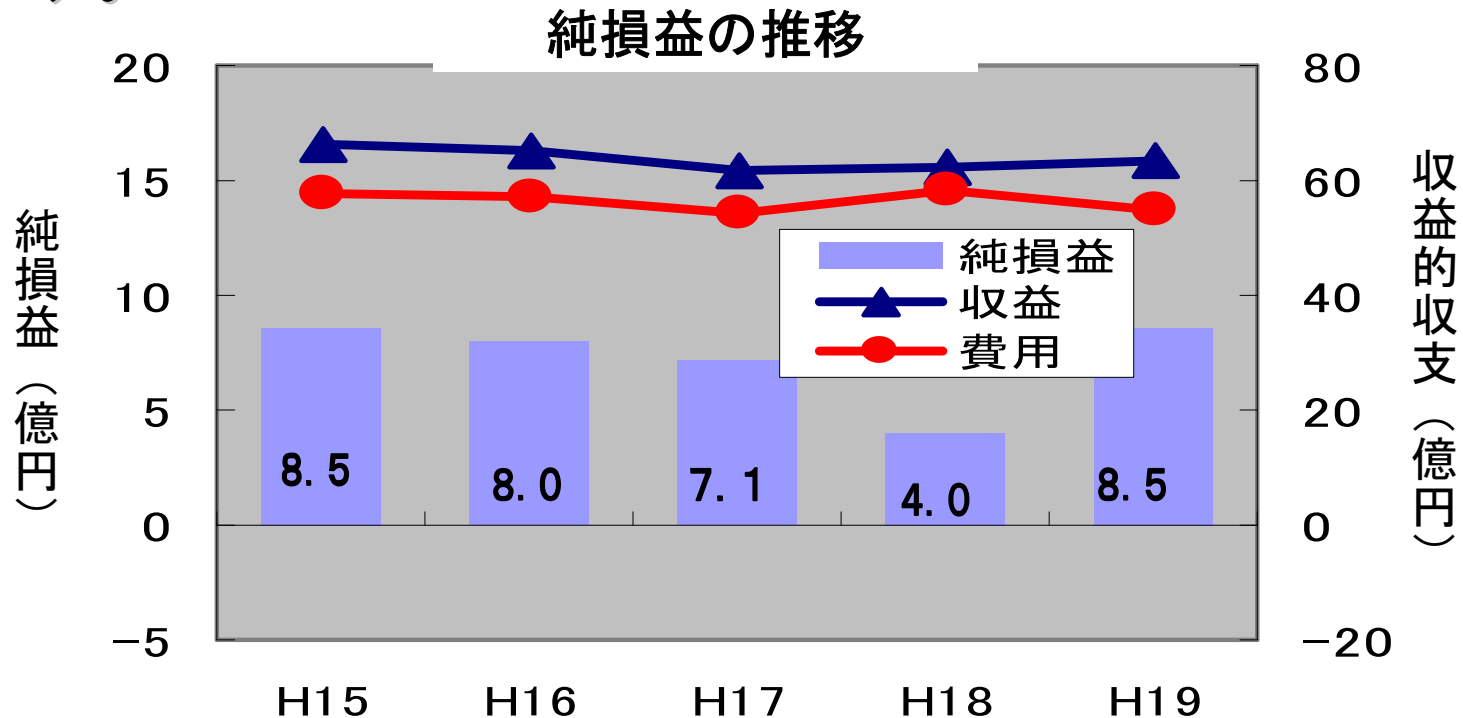
給水量が伸びない中で、料金値下げの実施等により料金収入は減少傾向にあります。企業債借換制度を活用したコスト削減等の経営努力により、経常黒字を維持しています。料金については、5年毎に見直しを行うこととしており、平成17年度に料金値下げ（平均10.4%）を実施しました。



経営状況（概要）

2 工業用水道事業

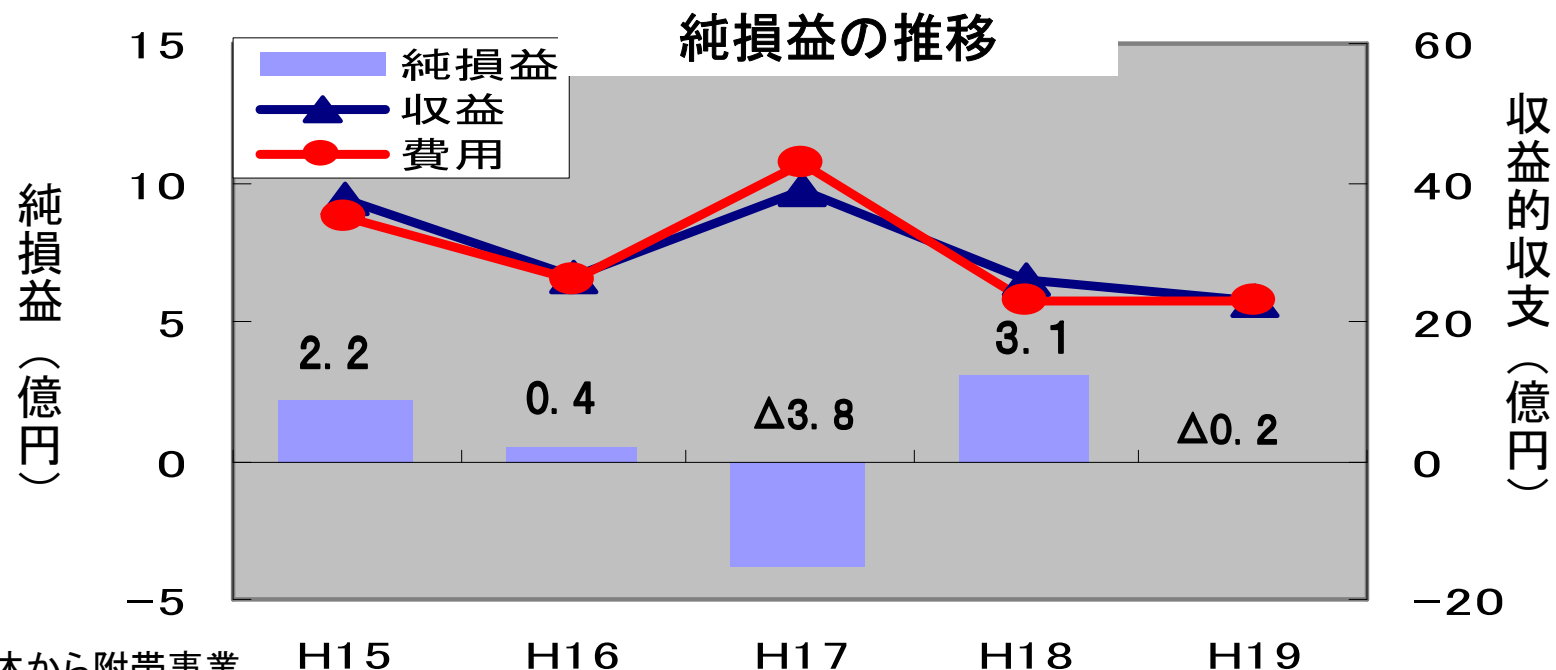
企業の水使用合理化などにより契約水量や料金収入が減少傾向にあります。経営努力による費用削減により経常黒字を維持しています。一方で、老朽化対策や耐震化のための施設改良が課題となっています。料金については、3年毎に見直しを行うこととしています。



経営状況（概要）

3 水力発電事業

平成17年度は、台風災害の復旧事業のため約4億円の赤字となっていました。18年度は復旧事業が進み、天候も順調であったことから、収支が改善しました。19年度は、年間降雨量が過去30年間平均の約73%と極端に少ない年であったことなどから、約2千万円の赤字となりました。



※電気事業全体から附帯事業を除いて集計

経営状況（概要）

4 R D F 焼却・発電事業（附帯事業）

事業当初に見込んでいたよりも、R D Fの品質管理や施設の安全対策などに多額の経費が必要となっており、赤字の状況が続いています。平成18年度、19年度のR D F処理料金を増額変更するなど、収支の改善に努めています。

